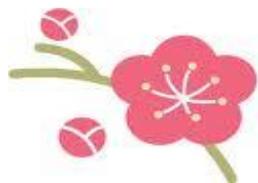


ファミリー



小野市立河合中学校 小野市三和町 983-2

学校評価と分析について

小野市立河合中学校長 高瀬 城作

令和5年度も残すところあとわずかとなってまいりました。保護者の皆様におかれましては、この一年間、本校教育に多大なご協力・ご支援をいただき、深く感謝申し上げます。

さて、保護者ならびに児童生徒を対象に過日実施いたしました、本校教育活動に関するアンケートの分析結果と今年度の総括、および今後の方向性について、下記のようにご報告させていただきます。

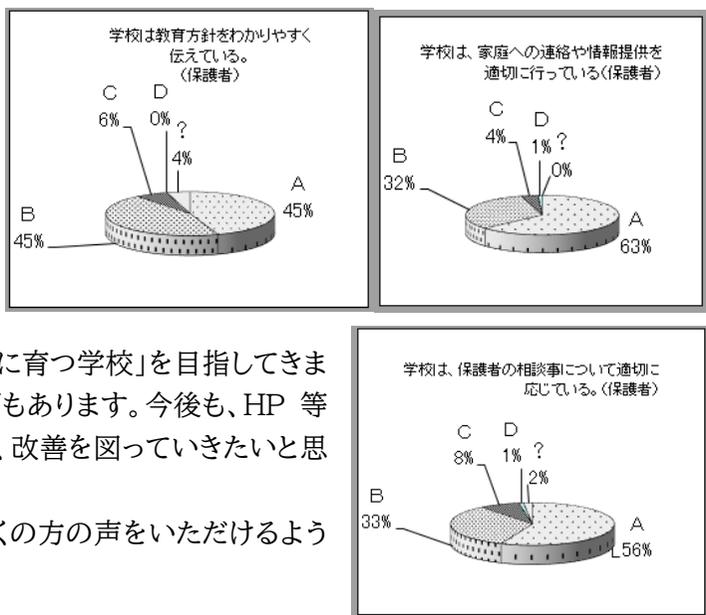
アンケート結果の見方について

アンケートは 6～9 年生の保護者と児童生徒を対象とし、各質問内容について、「A=そう思う」、「B=ややそう思う」、「C=あまりそう思わない」、「D=そう思わない」、「? =判断できない」の選択方式で実施しました。分析は「A・B」を肯定的な評価と捉え、類似する質問ごとに総括したうえ、主だった内容について取りまとめています。

1 家庭・地域への情報提供と連携

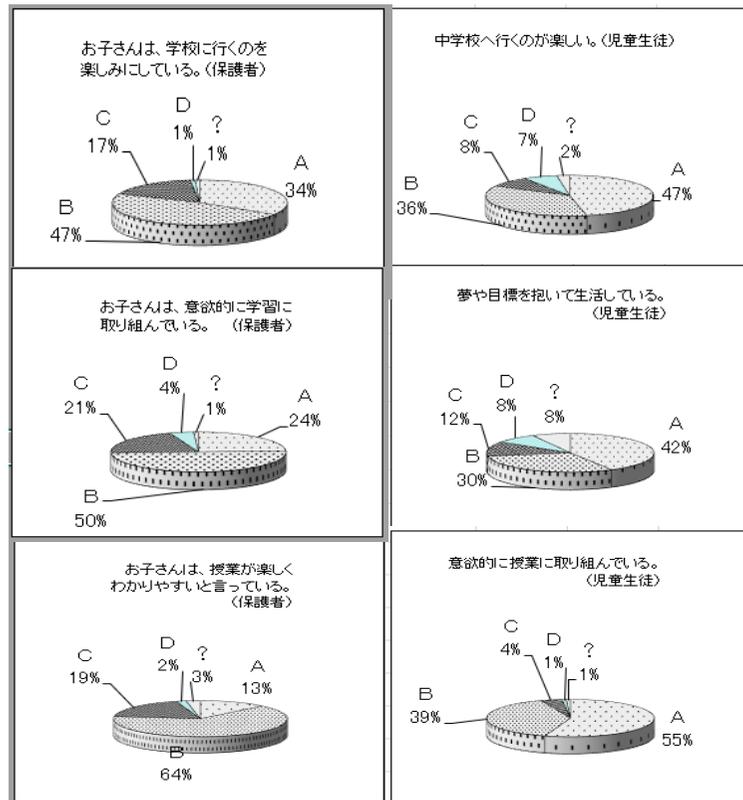
例年通り、学校の教育方針や行事予定は、毎月発行しています学校だより「Family」や、各学年の学年だより等でお伝えしてきました。学校のようなすを保護者の皆様にお伝えすることで、本校教育活動への理解を深めていただくとともに、学校と保護者・地域の皆様の連携も促進され、お子さまへの教育活動の効果も高まっています。5月には、昨年同様、河合地域づくり協議会の協力の下、グラウンドの除草作業を行いました。また、地域の方を講師に招いた「たてわりふれあい講座」や、自分たちの地域への知見と誇りの育成を目的とした「かわい歴史ウォーク」の実施など、「地域と共に育つ学校」を目指してきました。しかし、地域の方への発信が不十分な面もあります。今後も、HP 等をさらに充実させ、理解を深めてもらえるよう、改善を図っていきたく思います。

丁寧な情報発信に取り組んでいき、より多くの方の声をいただけるよう工夫していきたくと思っています。



2 学校生活の充実度

学校生活の充実度に関する項目の中の学習に関わる質問に対する回答は右のグラフの通りです。全体的に肯定的な思いをもっている児童生徒、保護者の方の割合が高いことがわかります。特に児童生徒の『中学校での授業はわかりやすい』『意欲的に授業に取り組んでいる』の項目の肯定的評価が非常に高く、主体的かつ意欲的に児童生徒が授業に取り組めていることがわかります。『私には夢や目標がある』の項目も肯定的な評価が高くなっており、希望をもって学校生活に取り組んでいる児童生徒が多くなっているようです。



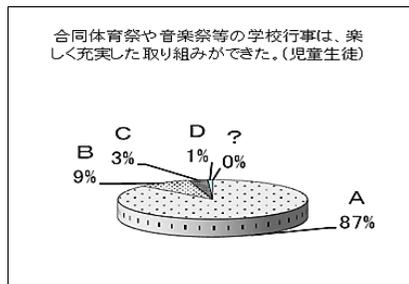
『Cromebook や実物投影機、プロジェクターなど機器を使った授業は意欲が高まる』の項目でも肯定的な評価が返ってきています。今後もICT機器の活用により思考を深めることができた場面などを検証し、効果的な活用方法を研究していきたいと考えています。また、学年が上がるとともに学習内容が増え、家庭での学習習慣が重要になります。そこで、児童生徒会役員が中心となって議論を進め、「河合中学校スマホルール3か条」を設定しました。一日の使用時間や使用方法を、児童生徒が主体となって決めていくことで、学習面の向上だけでなく、児童生徒の主体性が成長することが期待されます。

児童生徒会スローガンにあるように、6～9 年生全員が協力し、前進・全力で創り上げた学校行事でした。グラフの結果からも読み取れるように、今年度も多くの児童生徒や保護者の方々にとって充実した活動になったのではと自負しています。

体育祭では、1～9 年生の関わりを大切にし、その絆を深めるために、児童生徒会役員が中心となって、関わり方や競技の実施方法を工夫しました。小学生と中学生が一緒になって、練習の休み時間に楽しそうに会話をしたり、遊んだりしている姿が印象的でした。

音楽祭に向けては、報道部長の思いから、例年の学級単位の合唱に加えて、6～9 年生全校生での合唱も実施しました。練習期間が短い中でも 6～9 年生全員が協力し、1つの合唱を創り上げる姿が素晴らしかったです。

今後も学校行事が、児童生徒一人ひとりの成長につながるように充実させていきたいと思ひます。また、一つひとつの学校行事を、ご家庭でも話題にいただけたら幸いです。

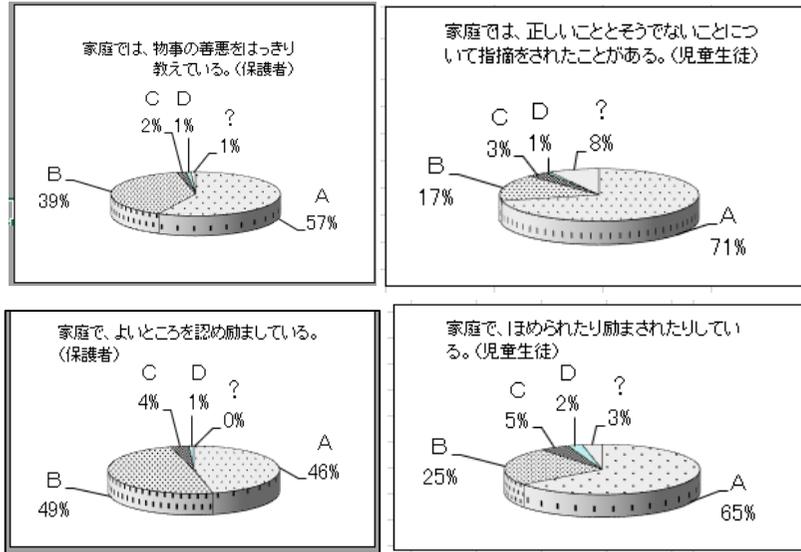


3 家族との関わり・家庭生活

家庭のご指導とご協力が学校生活に生かされていると感じています。

アンケート結果から、児童生徒自らが善悪を判断する力が必要だと感じます。また、悩みやストレスによる自己肯定感の低下、スマホ使用による生活習慣の乱れなどの傾向が見られます。

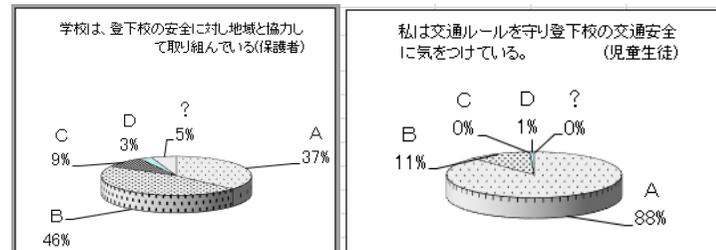
ご家庭でお子様と話す中で、気になることがございましたら、いつでも学校にご連絡ください。



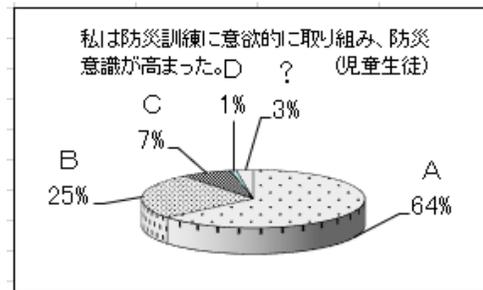
4 安全な登下校、防災訓練・防災意識の高揚

『交通ルールの遵守、安全な登下校(児童生徒)』の項目では、昨年度に比べ、肯定的評価が増えました。1学期の自転車訓練や各学期の交通についての話を通して、自転車運転時における安全意識は定着して

いるように感じています。しかし、乗車横断や並列走行といった自転車の危険運転について依然として指導を要する場面もあり、全員が常時守れているわけではありません。登下校で使用している道路が公共の場であるという意識を高め、いかなる時も安全な運転を心がけてほしいと感じています。教員も立ち番等の指導を継続して行なっていきます。ぜひ、ご家庭でも登下校中のマナー等に関する話をしていただけるようお願い致します。



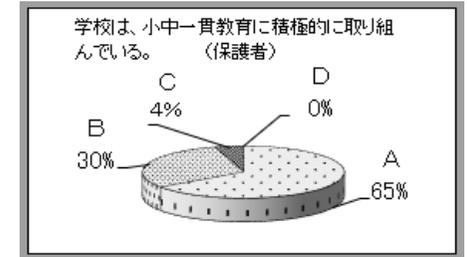
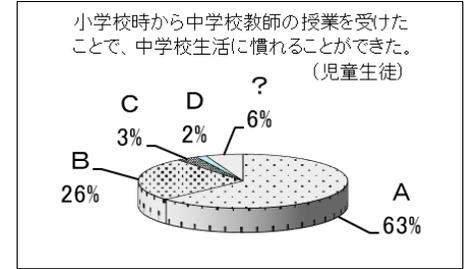
「防災訓練・防災意識」については、例年行っている防災訓練によって子ども達の防災意識が高まっています。1学期には不審者を想定した避難訓練を、3学期には阪神・淡路大震災の追悼集会を実施し、防災の意識を高めることができました。各学年でも避難所について考えるなど、様々な状況に応じた防災意識が高まってきました。他にも、教職員によるAED・心肺呼吸蘇生訓練を実施し危機対応力も強化しています。子ども達の安全を守るためにこれからも継続して取り組んでいきます。



5 小中一貫教育の推進

5・4制による小中一貫教育を始めて今年で9年目になりました。児童生徒のアンケートから、『小学校から中学校教師の授業を受けることで、中学校生活に慣れることができた』の項目について、肯定的評価が88%となり子ども達自身が小中一貫の有効性を感じていることが読み取れました。また、95%の保護者の方より、『学校は、小中一貫教育に積極的に取り組んでいる』との評価をいただいています。

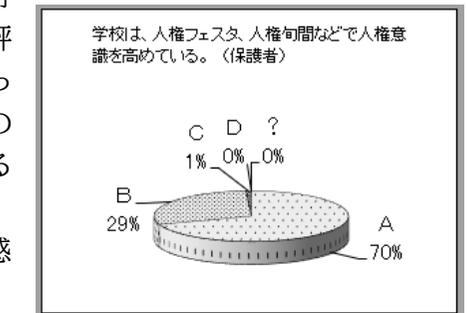
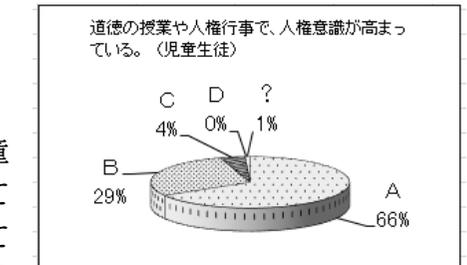
これらより、小中一貫教育が河合校区の学校教育における土台となっていることがうかがえます。そのような小中一貫教育をこれからも充実させていくために、小中の教職員が一体となって教育を行えるよう研鑽を深めていきたいと考えています。



6 人権・心の教育

『道徳の授業や人権行事で人権意識が高まっている(児童生徒)』の項目では、95%の児童・生徒が肯定的評価を返しており、日々の取組が児童・生徒の人権意識高揚の実感として結実していると感じます。また、『人権フェスタ、人権旬間などで人権意識を高めている。(保護者)』の項目における高評価からも、本校教育活動を好意的に受け止め支えてくださっている様子が伝わって参りました。加えて、「人権フェスタでの発表を通して児童・生徒たちの主体的な学習活動を目にすることができて良かった。」とのありがたい声も頂きました。

今後も日々の学校生活を通して、さらなる人権意識・人権感覚の涵養に努めていきたいと考えております。



7 総括

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。ご回答いただいた項目それぞれについて、児童生徒向けアンケートの結果も踏まえ学校内で上記のように総括・分析いたしました。5・4制小中一貫を柱とする本校の教育活動も、実施以来9年の時を経て、児童生徒の落ち着いた学びの姿や主体的な生活として実を結んでいます。これもひとえに、家庭や地域の方々を支えられているためであると、アンケート結果より改めて感じることができました。その他ご指摘いただいた点についても、教育活動の充実に向けて生かしていきたいと存じます。これからも、皆様のご期待に添えますよう努力してまいります。今後とも本校教育に一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。